

# 専門科目の特徴

## 【子ども発達学科】

専門科目	特徴
生徒・進路指導論	学校現場で問題になっている生徒指導上の課題について理解し、生徒指導に関する専門的知識と実践的指導力を身につけることは、今日の教師にとって必須の内容である。授業では具体的事例の検討を通じて、生徒指導の現状と課題の把握、生徒指導の方法、および教育相談の考え方とすすめ方についての理解を深める。
国語科指導法	国語科学習指導の目標と内容、方法、授業の構造、授業過程、指導計画など、小学校における国語科学習指導の全領域にわたって講述する。また、いくつかの教材を選んで、その教材を使って指導することを想定し、指導計画を考えたり、実際に学習指導案を作成するなど、実際の授業に即した学習をする。
理科指導法	問題解決型の理科授業を体験する。次に、理科学習指導案の書き方を学ぶ。さらに班ごとに学習指導案を作成し、模擬授業を行い、学生がお互いに評価しあう。模擬授業の実践や学生同士の相互評価を通じて、理科授業の作り方や指導の仕方などを身につける。
知的障害児教育論 I	特別支援教育においては、児童生徒の障がい特性を理解し、教育効果が十分に得られる方法によって展開されなければならない。また、個別の支援計画に基づく支援に代表されるように、児童生徒の主体性を尊重しながら、保護者や地域資源と連携を密にして、一貫した関わり合いが大切になってくる。本講義では、具体的な事例を取り上げながら、知的障がい教育に係る教育課程及び指導法について講義する。
教科体育	本科目では、小学校体育科の授業で取り扱う教材の特徴や取り扱い方などを理解し、指導者として必要な体育科の教材に関する基礎知識と技能を身につけることを目指す。加えて、小学校での各学年に応じた具体的な体育の授業づくりの進め方を検討できるような指導方法についても理解を深める。 本授業で取り扱う小学校体育の運動の領域は「体づくり運動」、「器械・器具を使つての運動遊び・器械運動」、「ゲーム・ボール運動」、「表現リズム遊び・表現運動」である。
子ども家庭福祉	子どもを取り巻く養護問題は山積みである。児童家庭福祉の現状と課題、子育て相談援助の活動内容を理解する。子どもの権利擁護の現状・実践から課題を学ぶ。 児童福祉の実践者として、第一線で働く保育士に求められる子育て家庭支援のあり方を学ぶ。子どもと一緒に成長する喜びを感じられる保育士の心を養う。

専門科目	特徴
教科図画工作演習	<p>幼児の発達段階と造形活動の関連について理解し、援助者としての基本的な考え方と技術を習得する。また作品制作に留まらず、演ずることや造形遊びなど、美術を通した多彩な表現活動につなげるよう応用力を養う。</p>
こども音楽療育概論	<p>特別な支援を要する子どもたちへの療育的な音楽の利用について学ぶ。子どもの発達の中で、音楽的な領域がどのように育ち、それが子どもの世界を如何に豊かなものと出来るかについて、基礎的な知識を身につけるとともに、音楽療育に必要な専門的な音楽の力について学んでいく。</p>